

玉掛け技能講習申込書

写真貼付
3cm x 2.5cm
・正面・無帽
・無背景
・裏面に氏名

* 太枠内のみご記入ください。
* 申込書、身分証明書原本は当日ご持参ください。

受講番号	
------	--

受講希望日	年 月 ~ 日	
受講者	フリガナ 氏名	旧姓を使用した氏名又は通称の併記の希望 希望 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし *希望の有無にレ点を入れてください。
	生年月日	年 月 日 併記を希望する旧姓等
	フリガナ 現住所	〒 TEL (携帯可)
	フリガナ 事業所名	TEL FAX
勤務先	フリガナ 所在地	〒 フリガナ ご担当者名

上記の通り受講申し込みをします。
本紙記載事項に虚偽等がある場合、受講後といえども法律に基づく処罰があっても異議申し立てはしません。

表 証明書コピー貼付位置 **裏**

- <記入に際しての注意事項>
- 1) 申込書に必要事項を記入し、FAXまたはメール送付にて事前予約してください。原本は当日ご持参ください。
 - 2) 申込書にご記入いただいた情報は修了証を作成する際に使用いたしますので太枠内を洩れなく正確に記入してください。
 - 3) 予約は定員数になり次第締め切ります。また、最少開催人数に満たない場合は、講習を中止もしくは日程変更することがありますのでご了承ください。
 - 4) 本人を証明する書類(運転免許証、在留カード等)、保有資格の証明書は当日原本をご持参ください。
 - 5) 「受講者名」の欄は、旧姓を使用した氏名又は通称の併記の希望の有無を☑してください。併記を希望する場合には、氏名又は通称をご記入のうえ、確認する書類を添付してください。
 - 6) 受講途中及び受講後、受講料は一切返金できません。
 - 7) ご記入いただきました個人情報につきましては、当センターが責任をもって管理し、修了証の発行・受講に必要な事項の確認やご連絡、及びお客様にとって有益と思われる情報の提供等の目的以外で使用することはありません。

* 既に保有している資格がありましたら下記にご記入の上修了証のコピーを貼付してください。

保有資格	修了証番号	交付年月日	発行教習機関
<input checked="" type="checkbox"/> 玉掛け技能講習		年 月 日	
<input type="checkbox"/> フォークリフト運転技能講習		年 月 日	
<input type="checkbox"/> ガス溶接技能講習		年 月 日	
<input type="checkbox"/> クレーン運転特別教育		年 月 日	
<input type="checkbox"/> アーク溶接特別教育		年 月 日	
<input type="checkbox"/> 足場・ハーネス特別教育		年 月 日	
<input type="checkbox"/> 動力プレス特別教育		年 月 日	
<input type="checkbox"/> その他の資格		年 月 日	

石川県労働局長登録教習機関
小松安全研修センター
〒923-0811 石川県小松市白江町口73-1
TEL 0761-48-4231 FAX 0761-48-4232
millioncorp@outlook.jp

修了証番号	第
修了証交付年月日	年 月 日
受講料領収年月日	年 月 日

企業名

お弁当について

590円/個にて注文することができます。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 希望します | <input type="checkbox"/> 希望しません |
| <input type="checkbox"/> 1日目 | |
| <input type="checkbox"/> 2日目 | |
| <input type="checkbox"/> 3日目 | |
| <input type="checkbox"/> 4日目 | |

* お弁当につきましては事前申込をお願いしております。

交通手段について

原則各企業による送迎をお願いしております。

受講者氏名 (パスポート又は在留カードに記載されている氏名)

① 受講者の日本語の理解力について、当てはまるものに○をつけてください。

	技能講習で使われるテキストの内容が日本語のまま分かる
	専門用語に振り仮名(ルビ)があれば、技能講習で使われるテキストの内容が分かる
	専門用語を解説する補助教材があれば、日本語の講義でも分かる
	専門用語について、母国語で説明を受ければ、日本語の講義でも分かる
	母国語の通訳者がいないと、日本語の講義は分からない

② 受講者の日本語能力の参考となる資格などを書いてください。

(例えば、「日本語能力試験でN4に認定された」など)

この線より下は登録教習機関が使いますので、何も書かないでください。

受講者の日本語の理解力を踏まえた措置

- ・通訳者の配置。
- ・講習時間の延長。
- ・母国語に翻訳した補助教材使用。
- ・母国語に翻訳した筆記テスト実施。